

石川県スポーツトレーナー連絡協議会

令和5年度 第6回理事会 議事録

日 時：令和5年11月21（火） 20時～21時07分

会 場：オンライン会議

出席者：北岡克彦、常盤和成、橋場貴史、田中良和、守山成則、西川典孝、俵 大輔、
吉本真樹、定池 寿、樋口武史、石川真依子、村松僚太

－12名－（会長、監事、理事10名）

【議 題】

報告事項 1；第5回理事会議事録について

田中理事（総務部長）より、令和5年度5回理事会議事録がメールにて送付済みと報告。

報告事項 2；会計報告について

田中理事（会計代理）より、10月18日～11月21日の会計報告が資料に沿って説明。本会通帳、ゆうちょ銀行の代表者変更を本年中に行なう予定と追加説明。承認。

報告事項 3；金沢マラソン2023 トレーナー活動について

守山理事（トレーナー部長）より報告。比較的良い天気だったので救護所利用者は筋痙攣など軽症が多かった印象。報告では救護所ごとに状況が違うこともあった。各救護所報告を文章で送って欲しい。

第7救護所（田中）利用者48名で筋痙攣、腰臀部痛が多かった。重症者は少なく搬送者はなし。まだ完走したいランナーが多かった。救護所スタッフのトイレ（老人施設）が1週間前にコロナ感染症の発症、拡大で使用不可。主催者側に報告がなかったようだ。救護所の立地は雨の場合、利用者がケガする可能性ありと感じる。医師、看護師との連携は上手く出来、回を重ねるごとトレーナー理解が深まる。

第8救護所（定池・石川）利用者47名ほど。ほぼ筋痙攣。歩かせながら痙攣に対応。低体温もあり。トイレで痙攣を起こすことがあり、車椅子で運び込まれるケースも多かった。捻挫の対応ができなかったので50mmテーピングがあると助かる（準備品はエラスコット38mmのみ）。擦過や爪剥がれなどは医師が対応。アイシングなど氷を使用する際、サランラップや、バンデージ、エラス帯等があれば固定してアイシングがしっかりできたと感じる。AED隊が嘔吐物を運んでくることが多く体調を崩すランナーが多かった。男性のランナーのウェアが乳首に擦れて痛む選手へも対応。

第9救護所（吉本）利用者70名余り。昨年の実績を踏まえトレーナーは4名配置。筋痙攣、筋痛。腰痛が主。救急搬送3名（血圧低下・低体温症・過呼吸）。AED隊の報告より救護所手前で両足筋痙攣にて動けないランナーがいたため車椅子を持って向かう。各救護所の間で負傷者の対応が難しい。

第11救護所（橋場）利用者5名、トレーナー対応2名（下肢痙攣）。重症者なし。35km

付近は走路上で食べ物が出る。そこで足を止め、少し走ると救護所となるので利用者も少なかったのかもしれない。救護所へ入ってくる人数が少ないため走路上で声をかけながらストレッチ等を指示。

産展 3 号館救護所（俵）利用者 62 名。ほとんどが車椅子での利用。筋痙攣が主。重症者なし。前回と医師、看護師が同じだったためレイアウトは迅速にセッティング。ベッド 2 台、車椅子 7～8 台入る部屋で対応。ゴール後のため歩いて帰ることが可能となるまで対応。市役所の班長が積極的に動き、ゴール横救護所と連携をとり、こちらが埋まっていれば雨天走路救護所へ回すように配慮いただく。

雨天走路救護所（守山）利用者 24 名。集中して 5 名の筋痙攣の対応はたいへんであったが、その分、看護師にも指示して対応を依頼。市役所の担当者とも上手く連携をとって活動。その関連で、ゴール横、産展 3 号館救護所とも連携をとってトレーナー活動が出来たことは良かった。

西川理事（柔整師会で産展 4 号館でブース設置）、慰安目的の希望者は断っていた。利用人数は 30 名ほど。

北岡会長より、トレーナー活動参加者への労いとともにも 1 週間後の富山マラソンでは心肺停止が 2 名発生と話があった。

協議事項 1；第 6 期認定スポーツトレーナー養成講習会について

田中理事より説明。11 月 5 日にスポーツナース講習会が実施。養成講習会として岩崎準会員が受講。第 2 回が 1 月 14 日。こちらも参加予定。第 3 回の日程をどうするか。前回は、3 月に第 3 回を実施。会員も参加可能、スポーツナースも受講可能として実施した。

認定講習会の 24 単位の科目を参考にスポーツナース講習会で受講した項目以外で受講科目を選定し実施する。スポーツ医学的な講習は実施済み。トレーナーに必要な知識を中心に実施。

日程的には、3 月開催（俵学術部長は 3 月 17 日以外がよい）にて講師とスケジュールを調整しながら早めに決定していく。

協議事項 2；令和 5 年度総会・講習会日程、講師候補等について

田中理事より説明。まずは開催日程についてどうするか。

仮として令和 6 年 4 月 7 日（日）とする。北岡会長より説明。ハンドボール世界選手権最終予選の日程が決まっておらず、それによっては変更の可能性あり。

講師についての候補については橋場監事が候補を選出して、俵理事が取りまとめ次回理事会にて協議し決定。遠方講師の場合は ZOOM での講習会も検討。

協議事項 3；その他

・北陸アメフト協会よりの依頼について

守山理事より説明。会場帯同の依頼（守山理事にきた案件を IST へ）。アメフトの試合 1 試合または 2 試合（1 試合 2～3 時間）。春 1 試合、秋 3 試合（ほぼ日曜日、各 1 名）。北陸は

学生トレーナーのみ。チームトレーナーは相手の選手に対応することは不可との状況。以前は会場帯同ドレーナーを大阪から呼んでいたが、今回、北陸で何とかできないかと守山理事へ相談があった。会場帯同ドクターは医師会より参加。トレーナー活動内容はほぼ救急対応。

どのような活動内容か年間日程など詳細を聞き、会員に募集する方向で話を前に進める。

・石川県スポーツ協会の維持会員制度について

田中理事より説明。県スポーツ協会の勝田氏に聞いたところ、任意であり、冊子に名前が載るくらいで、支払わないから何かあるということはない。今年度は支払ったが来年度は会計状況をみながら決定すればよい。

協議事項は全て終了。令和5年度第7回理事会を令和5年12月19日（火）と決定。令和5年度第6回理事会は終了。

（議事録作成：田中良和〈総務部〉）